



雨だれ石を穿つ

校長 石原 つぎ子

「雨だれ石を穿つ(うがつ)」ということわざがあります。小さな雨のしずくでも、同じ場所に落ち続ければ、やがて固い石に穴を開けるという意味です。ほんのわずかな努力でも、続けることで大きな成果につながることを教えてくれる言葉です。

学校生活の中で子供たちと接していると、日々たくさんの成長に出会います。昨年までは人前で話すことが苦手だった子が発表できるようになったり、苦手な計算に粘り強く取り組めるようになったり、進んであいさつができるようになったり。子供たちは、一年間で驚くほど成長します。

その姿を見ていると、ある共通点に気付かされます。それは、成長した子供たちが特別な才能をもっていたからではなく、「続けていた」ということです。

毎日の音読や読書、宿題、家庭でのお手伝い、朝のあいさつ。どれも一日で大きな変化が見えるものではありません。しかし、続けることで少しずつ力となり、自信となり、その子の習慣となっていくます。

私たち大人も同じかもしれません。仕事でも健康づくりでも、人との信頼関係でも、一度の頑張りで身に付くものは多くありません。小さなことを積み重ねた先に、大きな成果があります。

一方で、今の子供たちを取り巻く環境は大きく変化しています。便利なものが増え、知りたいことはすぐに調べることができます。楽しいことや興味を引くものも身近にたくさんあります。

だからこそ、私はこれからの時代を生きる子供たちに、「続ける力」を身に付けてほしいと願っています。私は校内を回りながら、毎朝黙々と一輪車の練習を続けている子、休み時間に漢字練習を頑張る子、下級生のお世話を続けている子の姿を見掛けます。すぐに結果が出なくても続けること。少し苦手でも挑戦してみること。うまくいなくても、もう一度やってみること。そうした経験の積み重ねが、学力だけでなく、将来困難に出会ったときに踏ん張る力や、自分を信じる力につながっていくのだと思います。

学校では、子供たち一人一人の努力を認め、励ましながら、その積み重ねを大切にしていきたいと考えています。子供たちの成長は、一日では見えません。しかし、昨日より少しできるようになったこと、続けられたことに目を向けると、その歩みは確かに前へ進んでいます。

「雨だれが石を穿つ」ように、子供たちの小さな努力がやがて大きな力となって実を結ぶことを願いながら、これからも家庭と学校が力を合わせて子供たちの成長を支えていきたいと思ひます。



☆7・8月の主な行事予定☆

7/2	木	スクールカウンセラー来校日	8/12	水	学校閉庁日(～14日)
7/6	月	歯科衛生士による歯みがき指導(2・6年)	8/16	日	クリーン作戦
7/7	火	はこぶつ来校日 歯科衛生士による歯みがき指導(4年) 犬田布中学校職場体験(9日) 家庭教育学級 学校保健委員会	8/21	金	出校日 
7/8	水	西部地区特別支援学級交流学習会	8/28	金	町就学児健診
7/15	水	干潟観察(2年)	8/29	土	PTA 環境整備部奉仕作業
7/16	木	薬物乱用防止教室(5・6年)	8/30	日	PTA 環境整備部奉仕作業予備日
7/17	金	1学期終業式	縁もゆかりもミニコンサート 5月29日、本校で「縁もゆかりもミニコンサート」が開催されました。徳之島に繋がりのある4名のアーティストが来校され、素敵な歌声や音色を披露してくれました。子供たちも一緒に元気よく歌うなどして、とても楽しく素敵な時間を過ごすことができました。		
7/20	土	クリーン作戦(美ら海・美ら島大作戦)			

JRC 加盟登録式

6月11日、全校児童が集まってJRC加盟登録式を行いました。一人一人がもっている優しい心を大切にしながら、犬田布っ子ヒーローになれるように、人のために自分ができる言動などについて考える時間となりました。



がん教育「いのちの授業」

6月9日、5・6年生が「いのちの授業」についてオンライン学習をしました。実際にがんになられた方から様々な話を聞くことができました。子供たちは真剣に学習に取り組み、命の大切さを改めて実感することができました。



西部地区3校合同交流学習

6月15日阿権小、系木名小の友達と一緒に国語や体育などの授業を行いました。いつもより大勢の友達と活動することができ、子供たちは楽しく活動することができました。それぞれの学校に帰るときも、犬田布小の子供たちが手を振りながら見送りをする姿がとても印象的でした。

